

# 【葬齋場編】

このシートは、

2022

調査実施分

No.

215

2021

ファシリティコスト分

57,566 人

## 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和4年度

施設名	葬斎場				
-----	-----	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	215
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	環境課
------	-----

## 1 土地データ

所在地 (地区)	仁別405番地79	敷地面積	6,978 m <sup>2</sup>
	( 西部 )	うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和49年度
建物構造	RC	延床面積	494 m <sup>2</sup>	経過年数	48年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	177,840千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	3,089円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	R1年度	R2年度	R3年度	平均利用者数	管理形態				
		131人	169人	172人	157人	委託			
ファシリティコスト 令和3年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等		-		支 出	①施設維持コスト	修繕料	247
		国費		-			火災保険料	-	
		道費		-			維持管理委託料	326	
		その他		1,577			敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		11,655			工事請負費	-	
	合 計		13,232			その他維持費	251	小 計	824
						②施設運営コスト	人件費	-	
						光熱水費	548	運 営 委 託 料	10,396
						その他運営費	1,463	小 計	12,407
					合 計(①+②)		13,231		
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり				
単位コスト	84,274円/人		230円/人		26,783円/m <sup>2</sup>				



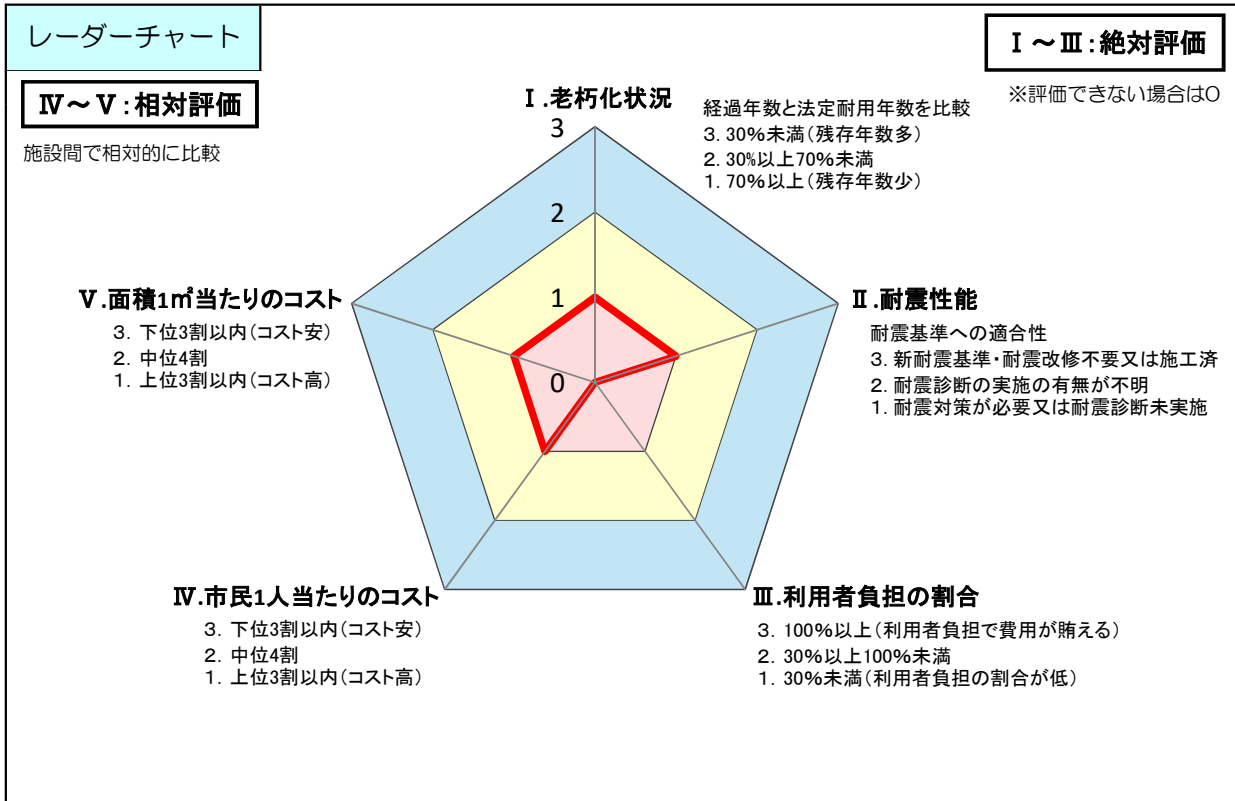
## 4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H4	火葬炉改修等	6,316			
H9	火葬炉改修等	6,035			
H15	大規模改修(火葬炉新設、内外装改修)	53,025			
H24	排風機取替	1,712			
H26	電気設備修繕	1,151			

## 5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<b>I. 老朽化状況</b>	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示              (経過年数÷法定耐用年数)              数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	96 (%)
<b>II. 耐震性能</b>	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示              耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か              対策実施済。</p>	対策が必要
<b>III. 利用者負担の割合</b>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)              数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。              利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
<b>IV. 市民1人当たりのコスト</b>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口              数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	230 (円/㎡)
<b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積              数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	26,783 (円/㎡)

**総合評価**

経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有していない恐れがある(II)。

利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。

市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。